CEO メッセージ

「正々堂々と本道を歩もう」という創業者の想いのもと、品質と信頼を第一に、新たな価値を創造します。

　日東工業グループは「正々堂々と本道を歩もう」「品質第一主義」のもとで新たな価値の創造に挑戦し、サステナブルな社会づくりに貢献するとともに、お客様、取引先、従業員、株主・投資家、地域社会などステークホルダーの皆様との信頼関係を築き、ご期待にお応えしてまいります。

取締役会長 Chairman CEO
加藤 時夫

CEO メッセージ

「品質第一主義」貫いてきた77年

1948年に瀬戸の陶磁器を活用した「カットアウトスイッチ」を開発して以来、日東工業は電力を安全にご利用いただくための配・分電盤やブレーカなどの電気設備機器、情報通信用設備などを開発し、電気・情報インフラの発展に貢献してきました。さらに、注文品を翌日にお届けする「ワンデーデリバリー」を実現するなど、お客様の視点に立って生産・販売・サービスの一貫体制を築きあげてきました。近年は、地球環境に貢献するためエネルギーマネジメントシステムや電気自動車用充電器シリーズ、太陽光発電関連製品などに事業を広げています。グローバル展開では、中国や東南アジアに生産・販売拠点を展開し、欧米にも販売拠点を置いて電気・情報インフラづくりに貢献しています。

このような77年にわたる事業活動において、当社が大切にしてきたのは「正々堂々と本道を歩もう」という創業者の想いであり、当社グループの企業理念のベースとなっています。この理念のもと、当社グループは、安全で高品質な製品をお届けする「品質第一主義」を貫いてお客様の信頼を得てきました。

ステークホルダーとともに持続的成長を

2026中期経営計画にあわせて私たちはミッション「地球の未来に『信頼と安心』を届ける」を、そしてビジョン「誠実に問題解決にとりくみ新たな価値創造に挑戦しつづける」を掲げました。

私たちを取りまく社会・経済は大きな変革期を迎えています。特に、気候変動により激甚化する自然災害をはじめ、環境や防災に関する問題が大きな課題となりつつあります。当社グループは、美しい地球を次世代につなぐために、人と環境を大切にする企業文化を育んで持続的な成長を目指します。その取り組みは当社グループだけでは果たせません。株主・投資家の皆様のご理解・ご支持をいただくことはもとより、お客様や取引先の皆様とのパートナーシップが重要となります。さらに、当社グループが社会的価値を高めていくには、地域社会の皆様の理解も欠かせません。

そのために、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを大切にして、適切な情報開示を行い、ご意見・ご要望に真摯にお応えしていくとともに、お客様や取引先の皆様とも共栄につながる連携を深めていきます。

また、地域イベントへの参加や小学生向けの出前授業、日東学術振興財団による研究助成や海外派遣助成などの社会活動を積極的に進めてまいります。このような活動を通じてステークホルダーの皆様との信頼関係を築き、持続的な成長を目指しています。

当社グループの「未来」を担う人財づくりも大きなテーマです。国籍や性別などジェンダーの壁を超えて従業員の皆さんの個性を尊重し、大いに能力を発揮できる環境づくりを目指しています。従業員一人ひとりが仕事に誠実に向き合いながら成長し、jobをvocation（天職・使命感を持つ職業）と感じてくれると信じています。また、当社では芸術作品を至る所に配置し、従業員の皆さんが芸術に触れることで心が安らぐよう願っています。

当社グループは、創業者の想いや企業理念を貫くとともに、新たな価値の創造に挑戦し、健全な財務体質を維持しつつ、積極的な投資を通じて持続的成長を果たすことで、株主・投資家をはじめステークホルダーの皆様のご期待にお応えしたいと考えています。皆様にはいっそうのご理解ご支援をお願い申し上げます。

COO メッセージ

地球の未来に「信頼と安心」をお届けするために、新たな価値創造に挑戦しつづけます。

取締役社長 COO
黒野 透

COO メッセージ

売上高、当期純利益ともに過去最高

2024年度の連結業績は増収増益となり、売上高、当期純利益ともに過去最高を記録しました。売上高は新たにグループ会社化したテンパール工業、2023年に設立したEMソリューションズの連結効果に加え、価格改定、案件価格の改善などが寄与し、子会社株式の取得に伴う特別利益を計上したこともあって当期純利益が大幅な増益となりました。

当年度における日東工業グループを取り巻く経営環境は、非住宅の建築棟数が建築費用の高騰もあって伸び悩み、住宅着工件数も前期並み、設備関係の機械受注もコロナ禍が明けて回復基調にあるものの前期並みの水準でした。そうした厳しい環境の中、当社グループは、2026中期経営計画の初年度として、グループ経営の強化によるシナジー効果を高めつつ事業規模拡大に向けた積極的な施策を展開してきました。

とりわけ大きな成果として、DXを駆使したスマートファクトリーである瀬戸工場の順調な稼働があげられます。これまで主力商品である配・分電盤やキャビネットにおいては、標準品の大量生産を通じてコスト低減と安定品質を確保し、お客様の注文を翌日にはお届けする「ワンデーデリバリー」に代表される生産・販売・サービスの一貫体制を築くことで高い競争力と収益性を確保してきました。しかし、そのために仕掛品や在庫を大量に抱えざるを得ないことが大きな経営課題となっていました。

この課題を解決するためにお客様の注文にリンクして特注品も標準品も1つのラインで流す混流生産「スマートオーダーキャビネット」を導入することで、DXを活用したQCDの向上と在庫削減の両立を実現しました。この革新的な生産システムは生産技術部門とDX推進部門が一体になり、初期トラブルなども乗り越えて自社開発したもので、今後の改善・進化についても主体的かつ迅速に行うことができます。

さらなる「進化の加速」へグループ経営を強化

2026中期経営計画の2年目となる今期は、これまで培ってきた技術を基盤に新たな価値創造に挑戦しつづけることで、さらなる「進化の加速」に向けて社会的価値と経済的価値の創出に努めています。

特に重視しているのはグループ経営の進化です。当社グループは冒頭でも出た2社を新たに加え、日東工業を含めた国内9社、海外4社となりました。事業領域もメーカーや設計・施工などさまざまなサービスを提供するソリューション企業、グローバルに販売・調達を行う商社にまで広がっています。こうしたグループ内の連携を強化することでシナジー効果の創出に取り組んでいます。

日東工業のトップである私の取り組みとしては、各グループ会社のトップと毎月業績内容や直近の課題、新規投資などについて議論しています。さらにグループ間の人的交流を活発に行い、グループ会社が参画するプロジェクト型の取り組みを推進しています。

また、昨年度は2026中期経営計画の1年目の浸透活動として、各グループ会社のトップだけでなく、従業員にも説明をしに行きました。このような取り組みを行うことで従業員との対話の機会を増やし、そこで出た意見や課題を積極的に取り入れていきたいと考えております。各グループ会社の従業員一人ひとりの熱意を醸成することが企業の成長には必要であり、今後のシナジー効果の創出にもつながります。

グループ経営を進めてきたことで事業の幅が広がり、よりお客様のニーズにお応えできるようになりました。

COO メッセージ

日東工業が創業当初から貫いてきた「品質第一主義」をグループ全体に根付かせ、国内外を問わずどこで生産しても「日東工業品質」を実現する、いわば「Made by NITTO KOGYO」を世界のお客様にお届けしたいと考えています。さらに今後は、環境に優しい製品づくりにもグループ全体で力を入れていく方針です。地球環境を守る取り組みは、グループミッションである「地球の未来に『信頼と安心』を届ける」にもつながります。

コア事業でナンバーワンに、新規事業を積極展開

2026中期経営計画では、経営資源の最適配分を通じてグループ全体の収益力を高めるべく、「重点成長事業」「安定事業」「将来事業」に区分した事業ポートフォリオ戦略に基づき、位置付けと方向性を明確化した施策を実行しています。

電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業では、安定事業であるコア事業を強化するために配電盤事業においてテンパール工業との協働によるシナジーの創出を進めていきます。キャビネット事業においてはより多くのお客様にとってのファーストコンタクト企業であり続けること、情報通信関連事業においては超スマート社会に対応した製品・サービスを創出することで強い事業として盤石な基盤づくりを目指しています。新規市場の開拓では、事業・技術領域を拡大するために、カーボンニュートラルへの対応として電力の効率利用につながるEMS（エネルギーマネジメントシステム）に注力しています。当社グループとして競争力のある高品質・高付加価値製品を開発するとともに、EMソリューションズの強みを活かして現場調査から設計、施工、サービスまでの一貫したソリューションを提供することで優位性を高めていくことに期待しています。さらに、EVのリユースバッテリーを活用することで資源循環への対応を実現したサファ Link-ONE-（産業用太陽光自家消費蓄電池システム）などの拡販にも注力していきます。2024年度からは宇宙産業や一次産業の課題解決に貢献したいと考えており、当社グループの製品・技術の提供や効率的なエネルギーマネジメントに関する研究を進めています。

電気・情報インフラ関連 流通事業では、2024年度は半導体工場建設案件を獲得するなどIT投資向けのネットワーク部材が増加しました。この事業では、海外部門を持つサンテレホンの商社機能を生かして製品・部材をグローバルに調達することで、当社グループの事業への寄与と、外販による事業拡大に力を入れていきます。

電子部品関連 製造事業は、コロナ禍明けに起きた半導体不足に対応して在庫を積み増した影響がありましたが在庫調整は着実に進んでいます。アプライアンス関連は回復傾向であり、ノイズ対策の電子部品、ソリューションにも技術優位性があるため海外展開も含めて力を入れていきます。

このような事業展開の基盤となるのは研究開発です。近年の電気火災の増加を踏まえて微弱な放電を高感度に検知するスパーテクトを開発し、久能山東照宮や善光寺、松本城、札幌時計台などの貴重な文化財に納入しています。このほか、キャビネットなどの防錆、新素材の研究、自然災害への対応、水素社会に向けた製品開発などに取り組んでおり、大学との共同研究や大学発のスタートアップへの出資といった新規事業につながる挑戦的な取り組みも進めていきます。

COO メッセージ

好循環を生み出す人財育成と社会貢献

このような「進化の加速」を担う原動力は人財です。私は副社長時代から「働きがい改革」に取り組み、現在も、「社長通信」という場を通じて、自身の経験談や全社的な施策の進捗などについて、従業員向けに定期的な情報発信を行っています。例えば、私が若手開発者だったころの失敗談や、どのように問題解決に取り組みお客様から信頼をいただいたかを紹介することで、失敗をおそれずチャレンジする精神を伝えています。人財教育では、業務の効率化や生産改革、新事業開拓に必須となるDX教育などの専門教育や、グローバル人財育成のための海外研修制度などを導入しています。当社グループでは今後も従業員が主体的に自身の可能性を広げ、活躍の場を増やすことにつながる施策を進めていきます。

もうひとつ大切なのが、より多くの方々に日東工業グループのファンになっていただくことです。例えば、お客様でも人手不足が大きな課題となっています。そうした社会課題に応えて現場工事を省力化するソリューションを提供することでお客様に役立つだけでなく、新たな価値を生み出すことができます。その結果、社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

新たに株主になっていただいた方、長く株式を保有されている方に対しても、健全な財務体質を維持し、成長に向けた先行投資を積極的に進めつつ高水準の配当でお応えするとともに、統合報告書や決算説明会などの機会を通じてコミュニケーションを深めることで、長期にわたり応援してもらえる企業を目指します。

また、当社グループは社会になくてはならない電気・情報インフラの一端を担い、家庭や店舗、オフィスなどで広く製品をお使いいただいているにもかかわらず、BtoB製品であるためにそれほど知名度が高くありません。そこで、地域社会において地元自治体のイベントの協賛や小学生を対象とする電気教室を開催するなどの活動を地道に展開し、ステークホルダーの皆様に当社グループのことをより知っていただきたいと考えています。また、これらの社会貢献活動は従業員が自発的に提案する方式をとっていることも好循環を生み出しています。直近では、環境負荷の低減や、障がいを抱える方々の就労支援を目的に「名古屋市発達障害啓発プロジェクト」に参加し、障がい者支援施設との協働で使用済みユニフォームのアップサイクルによるオリジナルペンケースの製作を行いました。この活動は今期初めての実施となりましたが、多様な方々とのつながりを育む貴重な機会となりました。

オリジナルペンケースは
私も愛用しています。

2025年度の増収増益を期す

2026中期経営計画の2年目となる2025年度は、アメリカの関税政策や、ウクライナや中東で続く深刻な紛争が世界の政治経済の先行きに大きな影を落としており、為替変動やエネルギー価格の高騰などが懸念されます。当業界においても企業の設備投資、建築需要などの冷え込み、物流費用や原材料・部材コストなどの増加が想定されますが、当社グループにおいては2026中期経営計画に掲げた事業戦略の積極的な推進を実施し、たしかな価値を提供することで2026年3月期の通期連結業績として、売上高、経常利益ともに増収増益を期しています。

皆様にはいっそうのご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。